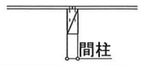
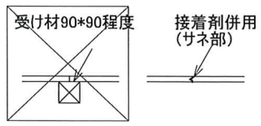
接着剤併用
(梁天端面)

母材端アキ5d、合板端アキ6d
合板釘CN65,　径3.33、5d = 16.65,
6d = 19.98　間柱 = 73.26
合板釘N50,　径2.75、5d = 13.75,
6d = 16.5,　間柱 = 60.5

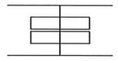


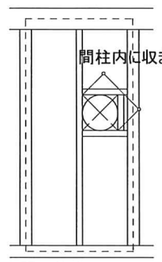
床合板長手ジョイント部(いずれか)



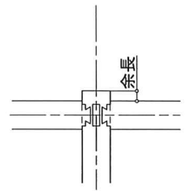
継ぎ手位置金物補強要領

オメガ短冊スリム(10*2)kN



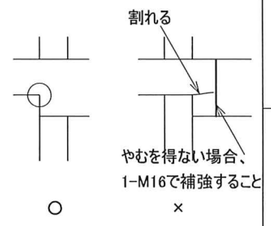


・小開口仕様
四周に下地を追加し、
壁合板の四周打ちを確保すること
くり抜きは可、合板切り分けは不可

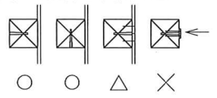


・仕口集中部仕様
(両側梁仕口部に柱ホゾがささる、等)
梁端に余長をとるのが望ましい。

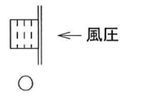
段差梁カット位置

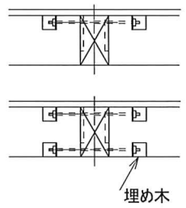


※背割り面に
HD金物を貼ってはならない
背割り面に合板継ぎ目が来る場合、
合板、背割り面それぞれで、
釘端空き距離を確保すること



※外周柱のラミナの向き指定

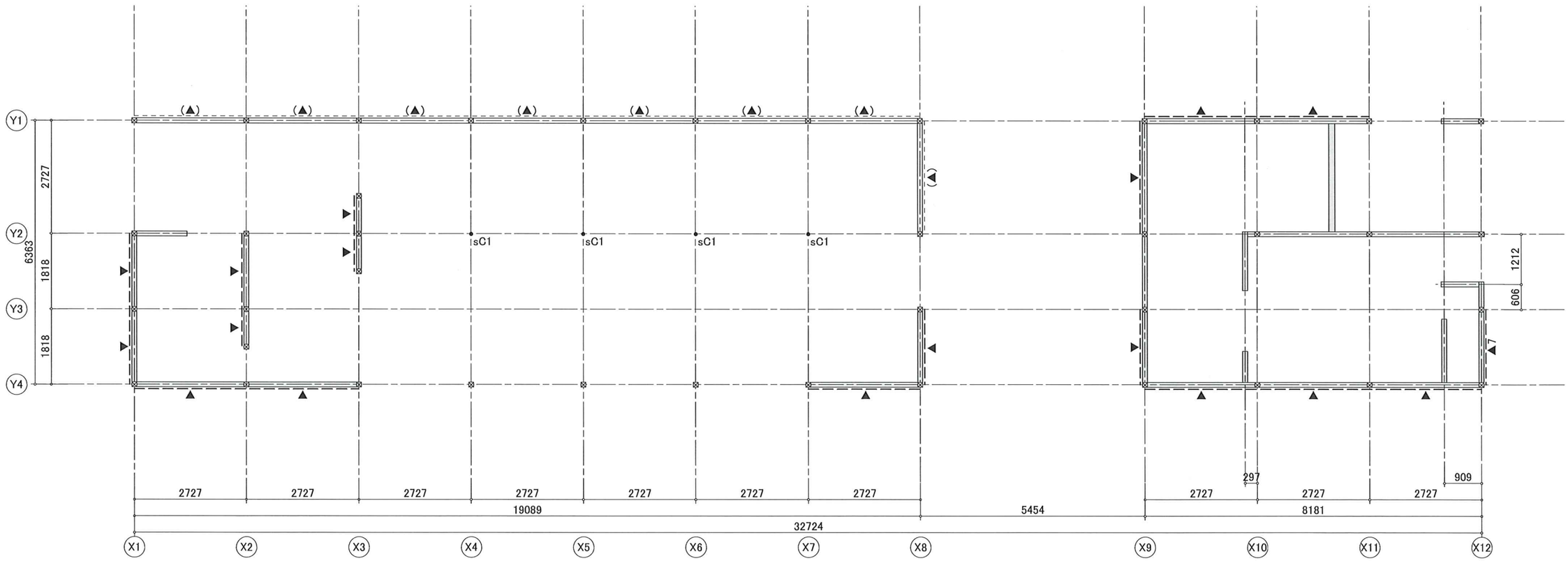




梁が露出する箇所では、
M12ボルト(上図)、HD引きボルト、
その他梁端金物は、
座掘り、材芯配置など、
みえない位置に配置すること。
※側面貼り付け不可。

特記なき場合_W(抜粋)
・自動釘打機の圧力管理は徹底すること。
打ち込み過ぎた釘については、近傍に増し打ちするか、
合板自体を取り換えること。
・耐力壁合板のかかり代は、柱、梁に50mm程度とする ④
・床合板のかかり代は、梁に50mm程度とする ④
・耐力壁合板を貼る柱で図中HD金物の特記がないもの、あるいは外周の柱は、
柱頭柱脚ともフラットプレートSD(短期5.9kN)同等品とする ②
・耐力壁がある通りの床レベルの梁継手/仕口は、
HD20同等金物あるいはM12引きボルト天端座彫りで補強すること ③(本図無記載)

耐震壁	
▲	:3.7倍
▲7	:7.0倍



土台伏図

特記なき限り

(▲)は準耐力壁未達

土台基準= 1SL+380 (※土台底)
═══ 1SL+350 (※立上り有、土台底)

no.260530	とも栄新築工事		S10
	土台伏図　A3_S-1:100	一級建築士番号　第315913号　門藤芳樹	

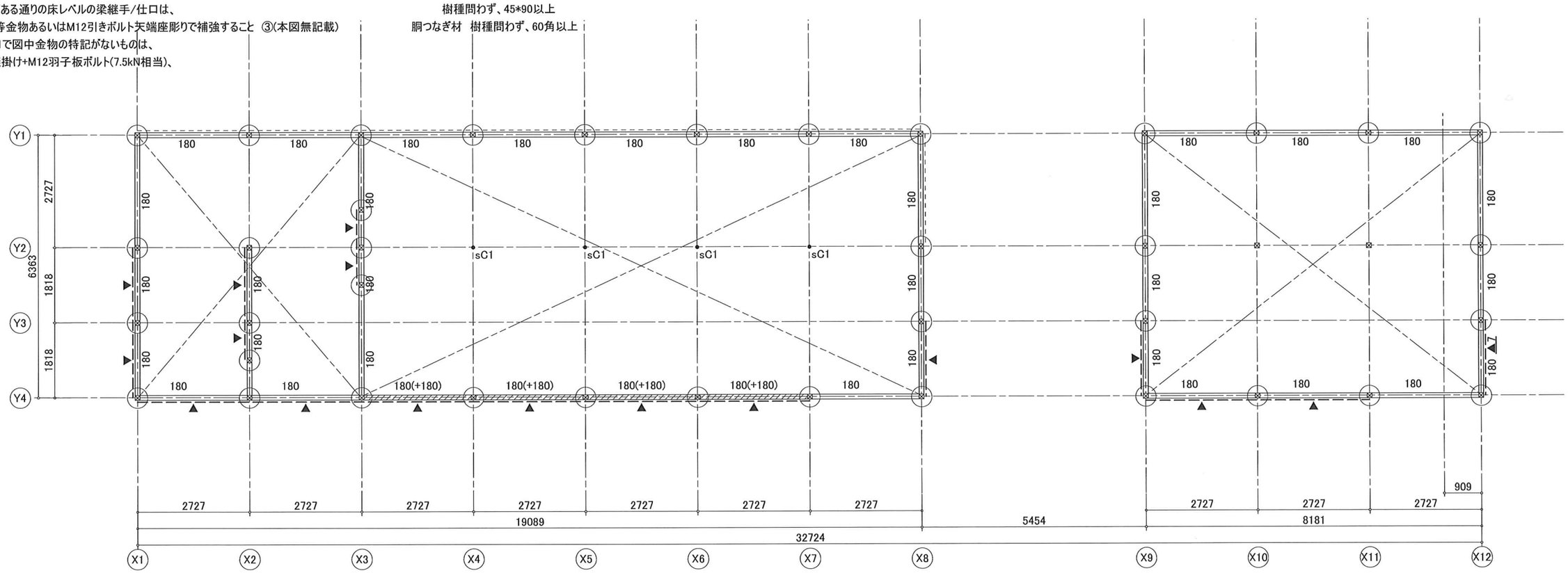
特記なき場合_W
・含水率15%以下
・地面から1m以内の部分、及び、
浴室など湿気の多い箇所は天井高さまで、
防腐/防蟻処理をすること(K3相当以上)
・自動釘打機の圧力管理は徹底すること。
打ち込み過ぎた釘については、近傍に増し打ちするか、
合板自体を取り換えること。
また、合板の端アキは木質工事標準仕様書(3)、14に従うこと。
・材種、強度等級、金物同等品は構造設計者に確認の上で変更してよい
ただし、みえがかりは全て同じ材種とすること
・架構上への荷解き位置は、事前に構造設計者に確認すること

・土台(要基礎パッキン) ヒノキ
継手は腰掛鎌継ぎとする
継手から300mm以内に、アンカーボルトを追加すること
・ホールダウン金物、柱接合金物など柱頭柱脚金物を以下、「HD金物」と総称する。
木造最下層柱脚のHD金物は基礎に定着するものに限る
最下層以外は、上下階柱を直接つなぐか、原則として上下階で同一の梁に接続すること ①
・柱 JAS無垢材機械式等級E90 ヒノキ同等以上
耐力壁合板を貼る柱で図中HD金物の特記がないもの、あるいは外周の柱は、
柱頭柱脚ともフラットプレートSD(短期5.9kN)同等品とする ②
・梁 JAS無垢材機械式等級E90 ヒノキ同等以上
耐力壁がある通りの床レベルの梁継手/仕口は、
HD20同等金物あるいはM12引きボルト天端座彫りで補強すること ③(本図無記載)
大梁仕口で図中金物の特記がないものは、
大入れ蟻掛け+M12羽子板ボルト(7.5kN相当)、
→見えがかりは、大入れ蟻掛け+天端座彫り+引きボルトM12
小梁仕口は、大入れ蟻掛けとする
小梁は均等割りとする
梁天側の座彫りは、降雨を考慮してガムテープ等で全数養生すること
・開口上下ムメ、スパン2730mm以下は柱材と同サイズで可
それ以上は構造図による
・垂木と桁 タルキックII*1
・床合板、屋根合板 構造用合板 t=24 N75@150(ネダレス仕様)、
床合板のかかり代は、梁に50mm程度とする ④
長辺方向が床梁に直交、千鳥貼り、四周打ち
合板長手受け材、60角程度(本図無記載)
・野地板 構造用合板 t=12 N50@150(下地が@455程度の場合)
耐水合板を用いること
長辺方向が床梁に直交、千鳥貼り、四周打ち/川の字打ち(サネアリに限る)
・屋根ふき材
SSR2007によるほか、告示S46第109号第1を満足すること

・耐力壁 (受け材や間柱は本図無記載)
長さ比例則を適用するために柱を2.5m以内に設けること(住木センターP.61)
原則片面貼り大壁、通常か床カチかを確認すること
耐力壁合板のかかり代は、柱、梁に50mm程度とする ④
間柱 樹種問わず、30*90以上
継手間柱(面材の継目)
樹種問わず、45*90以上
胴つなぎ材 樹種問わず、60角以上
床カチ受け材 樹種問わず、45*90以上、N90@150同等
入隅等受け材 樹種問わず、45*90以上、N90@200同等
※釘打ち増し壁の継手間柱/胴つなぎ材は、柱材と同じとする
※釘打ち増し壁の床カチ受け材 ↓各仕様記載の内容とする
※釘打ち増し壁の真壁受け材 ↓各仕様記載の内容とする
3.7(▲), 構造用合板 t=12(片面) CN50@75
7.0(▲7), 構造用合板 t=12(片面、大壁床カチ) CN65@75外周、@150中通り
受け材:見付45*奥行60以上、CN100@75
(大臣認定FRM-0334 大壁床カチ、釘打ち増し)
※図中()付きの耐震壁は壁量計算に加算していない
※床合板、耐力壁にコースレッド、NC釘等を用いてはならない

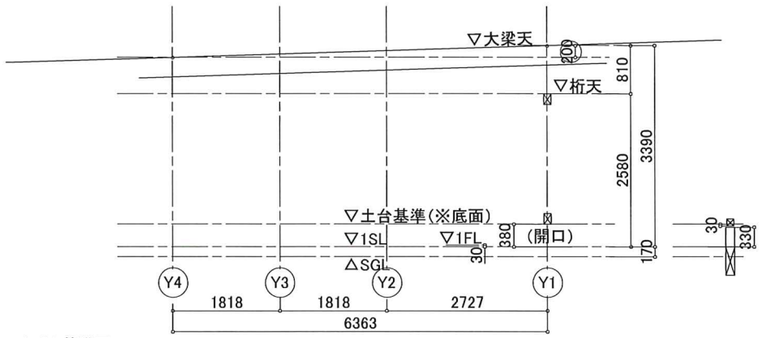
特記なき場合_W(抜粋)
・自動釘打機の圧力管理は徹底すること。
打ち込み過ぎた釘については、近傍に増し打ちするか、
合板自体を取り換えること。
・耐力壁合板のかかり代は、柱、梁に50mm程度とする ④
・床合板のかかり代は、梁に50mm程度とする ④
・耐力壁合板を貼る柱で図中HD金物の特記がないもの、あるいは外周の柱は、
柱頭柱脚ともフラットプレートSD(短期5.9kN)同等品とする ②
・耐力壁がある通りの床レベルの梁継手/仕口は、
HD20同等金物あるいはM12引きボルト天端座彫りで補強すること ③(本図無記載)

耐震壁
▲ :3.7倍
▲7 :7.0倍

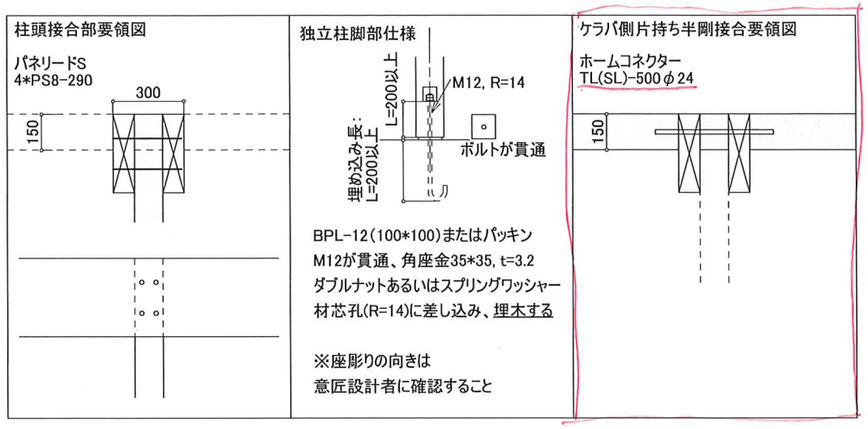


桁伏図
特記なき限り
120モジュール
レベル基準:梁天 = 1SL+2580
(-○○○)は、梁天からのレベル差を示す

no.260530	とも栄新築工事		S11
	桁伏図 A3_S-1:100	一級建築士番号 第315913号 門藤芳樹	



レベル基準図



特記なき場合_W(抜粋)

・自動釘打機の圧力管理は徹底すること。
打ち込み過ぎた釘については、近傍に増し打ちするか、合板自体を取り換えること。

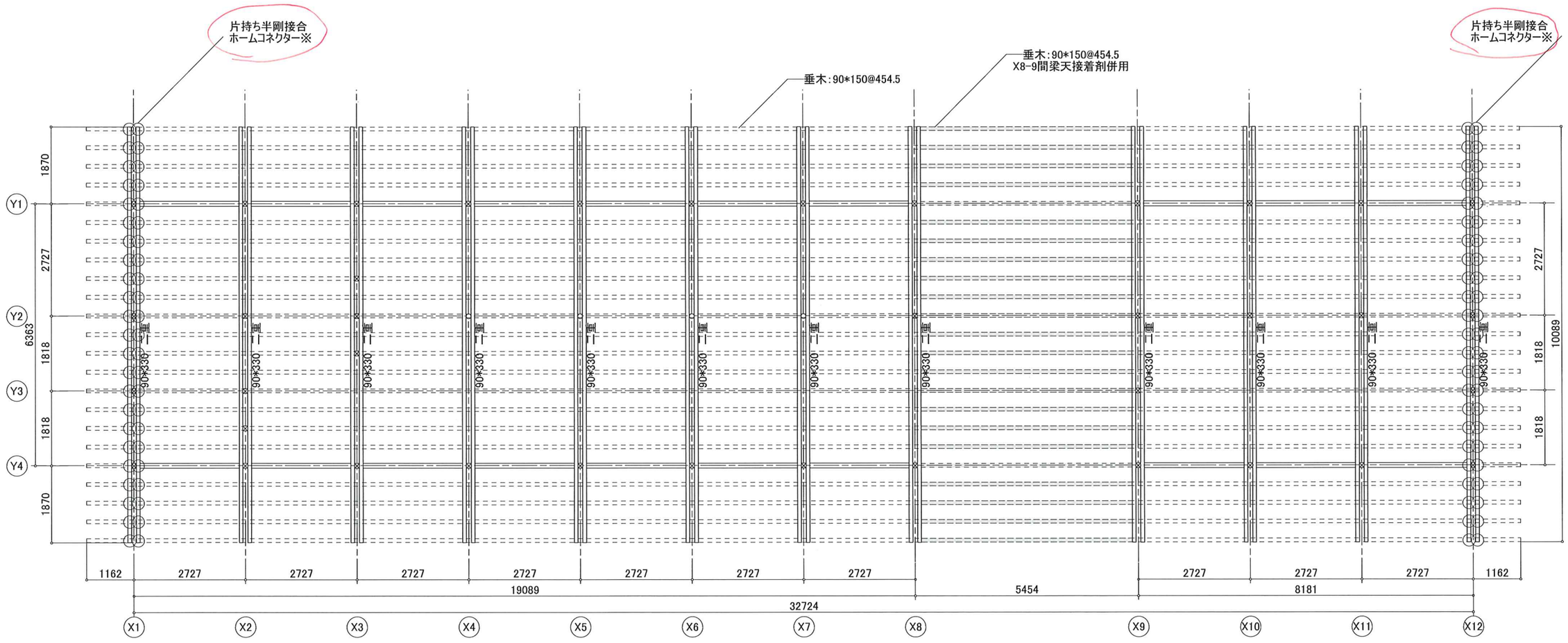
・耐力壁合板のかかり代は、柱、梁に50mm程度とする ④

・床合板のかかり代は、梁に50mm程度とする ④

・耐力壁合板を貼る柱で図中HD金物の特記がないもの、あるいは外周の柱は、
柱頭柱脚ともフラットプレートSD(短期5.9kN)同等品とする ②

・耐力壁がある通りの床レベルの梁継手/仕口は、
HD20同等金物あるいはM12引きボルト天端座彫りで補強すること ③(本図無記載)

耐震壁	
▲	:3.7倍
▲7	:7.0倍



屋根伏図

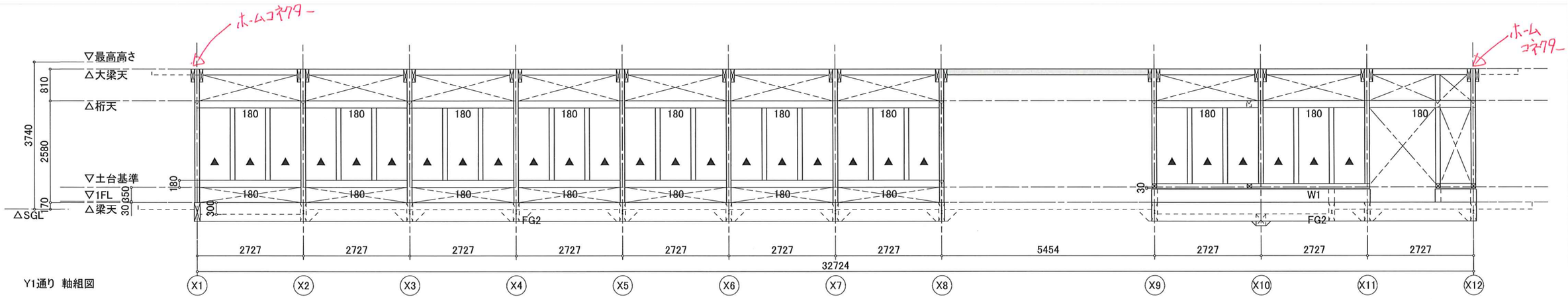
特記なき限り

120モジュール

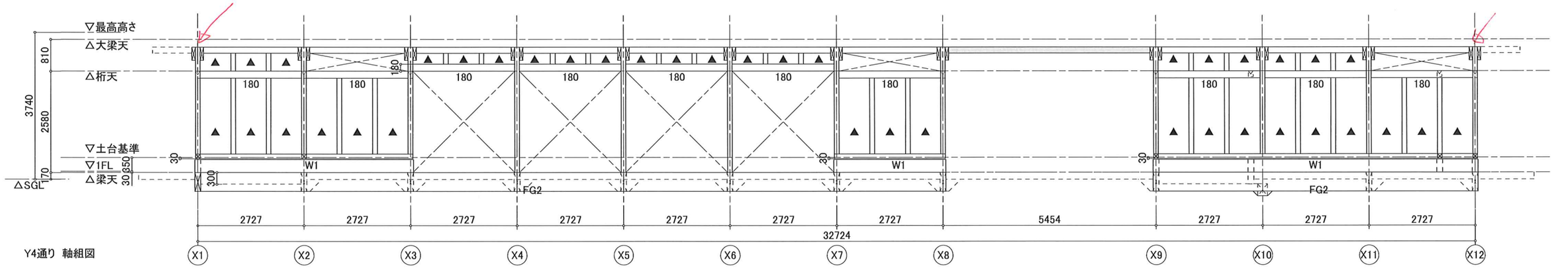
レベル基準:梁天
(-○○○)は、梁天からのレベル差を示す

屋根合板:構造用合板t24
(梁天直貼り)

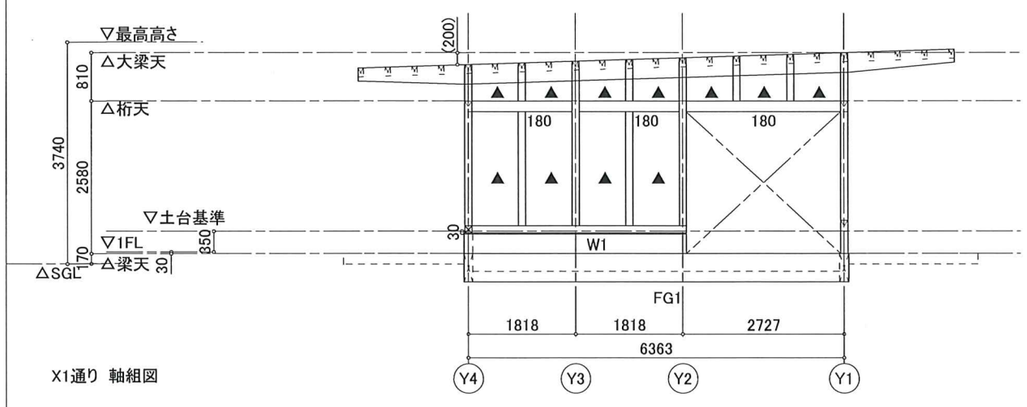
no.260530	とも栄新築工事		S12
	屋根伏図 A3_S-1:100	一級建築士番号 第315913号 門藤芳樹	



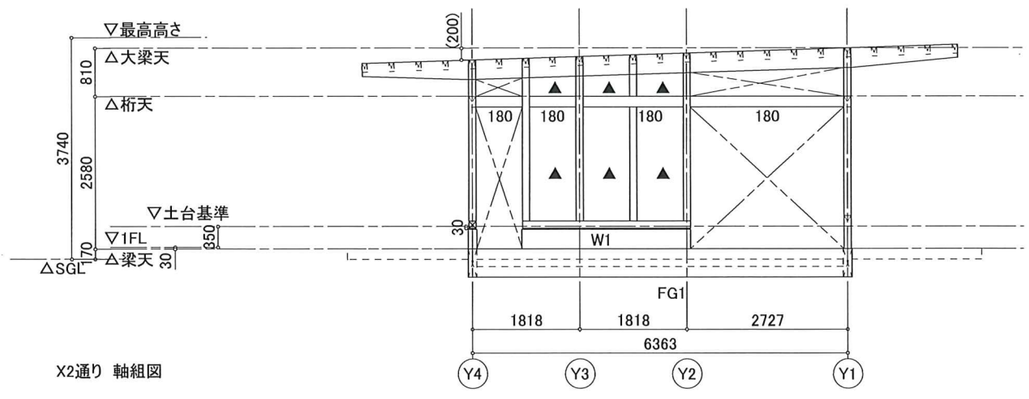
Y1通り 軸組図



Y4通り 軸組図

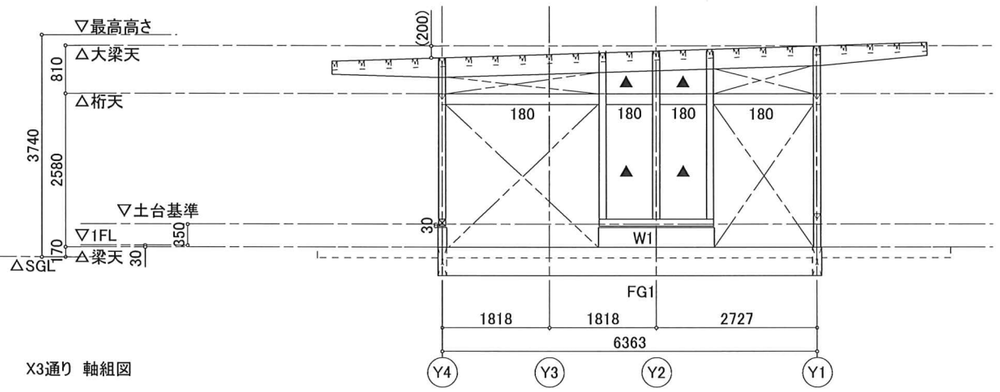


X1通り 軸組図

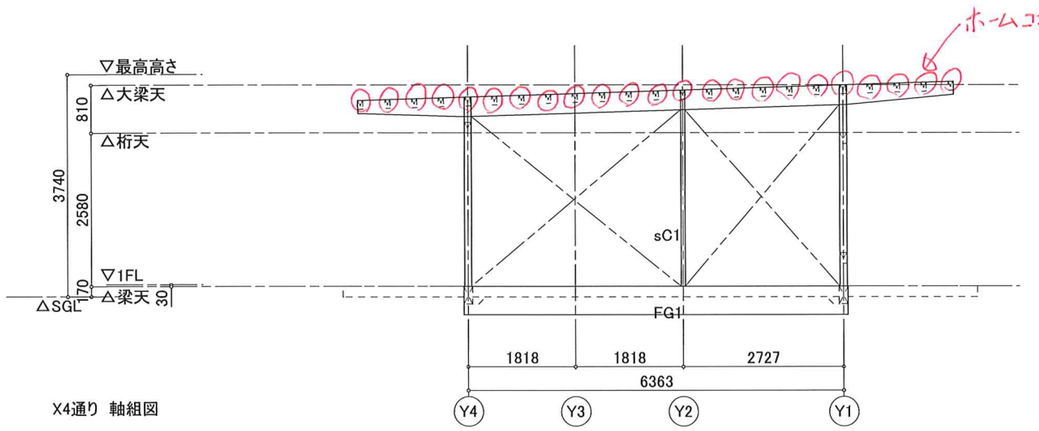


X2通り 軸組図

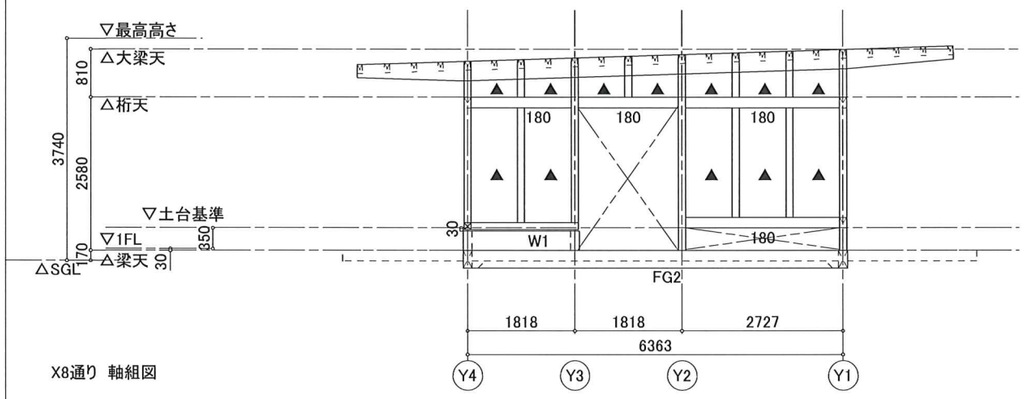
no.260530	とも栄新築工事		S13
	軸組図1　A3_S-1:100	一級建築士番号　第315913号　門藤芳樹	



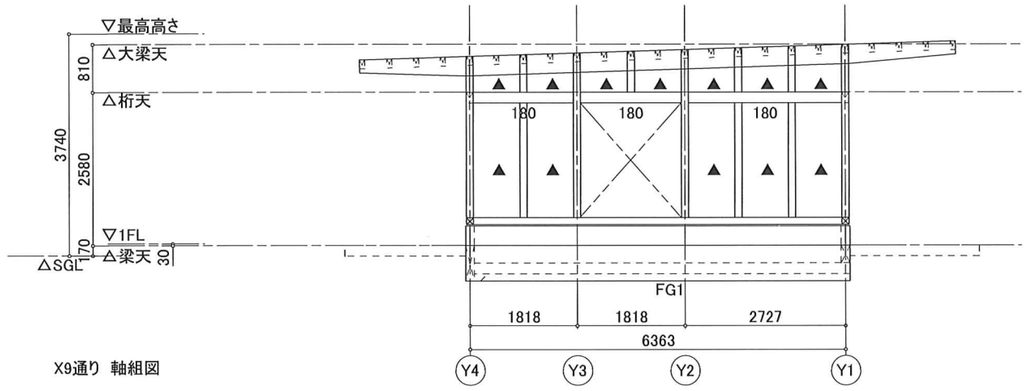
X3通り 軸組図



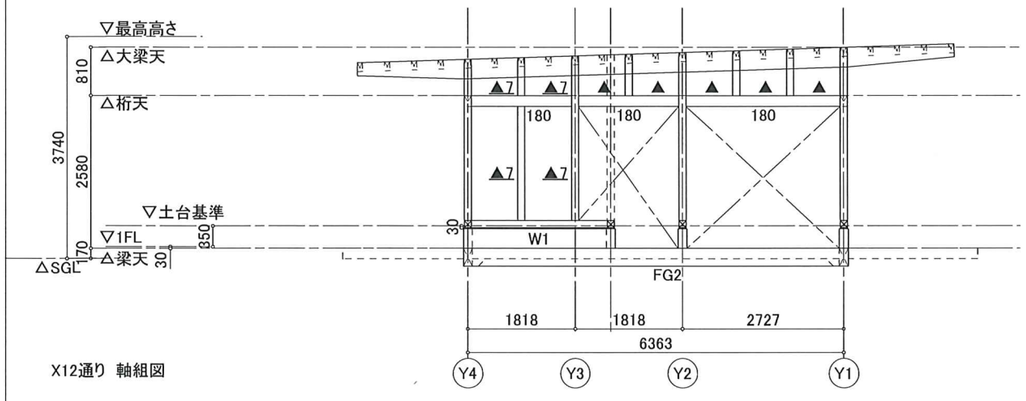
X4通り 軸組図



X8通り 軸組図



X9通り 軸組図



X12通り 軸組図

no.260530	とも栄新築工事		S14
	軸組図2　A3_S-1:100	一級建築士番号　第315913号　門藤芳樹	